

動物たちの冬の寒さ対策いろいろ

飼育員・やまうち

寒さ本格化のこの時期、温風や温水管の熱で部屋全体を温めるボイラー、エアコン、ストーブ、赤外線ライト、パネルヒーター、床暖房、湯たんぽなど、動物種や場所によって色々な暖房を使い分けます。床には乾草やワラ、落ち葉を敷くこともあります。寝室と外の温度差、前日との気温変化に気を付けて十分な換気と外に出す時間の調整も行います。また、動物たちは動物たちで互いに寄り添って暖をとることも…



団子状態で暖をとるワオキツネザル



冬用の体毛に脂肪を蓄え、互いに身を寄せ合って寒さ対策しているアナグマ。

気温や強風、雨など悪天候の場合、早く寝室に帰る、外に出せず展示をお休みする、また、通路や寝室を出入り自由にすることがあり、動物が観れないことがあるかもしれません。動物たちの健康と安全を優先しての取り組みでご迷惑をおかけしますがご理解をよろしくお願ひします。

カピバラの夜の過ごし方

飼育員・にしの

動物園の夜は動物たちだけの時間です。そんな夜のカピバラの様子をカメラでのぞいてみると、穏やかな夜の過ごし方が伝わってきます。

寒い冬の時期は、寝室に帰るのがだいたい3時半くらいで、グラウンドに出るのは次の日の10時過ぎになり、寝室で過ごすのはだいたい19時間くらいになります。ある日の夜の2頭の過ごし方をじっくり観察してみると、睡眠・休憩（台の上でじっとしている時間）は約12時間、食事が5時間半、うろうろしているのが1時間、うんちをしているのが45分でした。このように夜のカピバラたちは寝る以外だと長い時間をかけてエサである牧草などを食べているというのが分かります。うんちも部屋のプールに2頭それぞれでするので結構な時間になりますね。

今回の様子はオスの「ソルト」、メスの「ねっとう」の夜の様子でしたが、以前の違うペアの夜の様子を紹介した動画がYouTubeにあるので興味がある方はそちらも見てみてください。

こちらのQRコードから動画が見られます



最近すっかり寒くなり、冬本番ですね。寒さも辛いですが、冬ならではの“乾燥”も辛いかと思います。私も仕事上獣舎の掃除などで水をよく取り扱うので、毎年あかぎれと戦っています。乾燥が辛いのは人間だけではありません。動物も同じです。がおーこくで飼育している大型ネコ科動物は、冬になるとパッド（肉球）が乾燥し、ひび割れてしまうことがあります。パッドが乾燥してしまうのはいろいろな要因があつたりするのですが、原因の一つとして空気の乾燥が挙げられます。がおーこくの暖房はパネルヒーターを使用しているので、エアコンと比べると空気の乾燥は抑えられると思いますが、季節的な乾燥には適いません。

そこで寝室前に以前 amazon ほしいもののリストで頂いたミストを設置し対策を行っています（ご支援いただきありがとうございました！）。

パッドのひび割れはひどい時、出血を伴ってしまうことがあるので、動物の状態を見ながら対策をしていければと思います。



<寝室前に設置しているミスト>

テナガザル？クモザル？ あなたは見分けられる！？ 飼育員・ところ

クモザルがつり橋を渡っているのを遠くから見て、「テナガザルだね～」と言っている声をよく耳にします。そこで、テナガザルとクモザルを比べてみたいと思います。



分類	新世界サル (オマキザル上科 クモザル科)	類人猿 (ヒト上科 テナガザル科)
生息地	中央～南アメリカ	アジア
尾	長い尾	尾なし
移動方法	腕と足、尾も使って移動	腕のみで移動



体の大きさもクモザルが細身に対し、テナガザルはややがっしりとした体格に見えます。

さて、もう分かりますよね？ 手始めに、写真はどっちがどっちでしょう？